

年に1度は考えたい家庭の防災対策

災害に対する日ごろの備えは、家族と家を災害から守るための基本。以前に備えておいたからと安心せず、年に1度は家族で防災対策を再確認することが大切です。

いざというときを想定して

全町一斉防災訓練 10月3日(日) 午前9時～

4年前に発生した鳥取県西部地震。震度6強の大地震は、日野町にも大きな被害をもたらしました。まちでは、鳥取県西部地震が発生した10月6日を「日野町防災の日」と位置づけ、この日に防災訓練を行っています。

今年は、多くの住民の皆さんに参加してもらおうと、10月3日(日)に防災訓練を行うことにしました。午前9時にサイレンで合図します。住民の皆さんは各自治会で決められた仮避難所に避難してください。

詳しくは、各自治会に問い合わせてください。

問合せ先 役場総務課(電話 72-0331)

地域の防災力



ガレキ撤去を手伝うボランティア(震災当時)復興に向け多くの人が力を合わせた

忘れない

鳥取県西部地震を
忘れない
忘れてはいけない
震災体験
親やかな日だからこそ
考える

平成12年10月6日 午後1時30分発生
マグニチュード7.2 震度6強

鳥取県西部を震源とする地震が発生し、日野町は震度6を記録

防災行動力は

自分自身で体験して覚える

重要なのは、これらのポイントをただ知識として知っているだけではなく、実際にその場で行動に移せるということです。

知っているということは、できることと同じではありません。とつさに消火器や避難器具などを使えますか。避難所まで安全な道を通って行けますか。何となく知って

いるだけでは、命の安全保証にはなりません。

命を守る行動を確実にできるようにするためにも、まちが行う全町一斉防災訓練や地域の防災訓練などに積極的に参加して、防災行動力を身につけましょう。自分自身で体験して覚えておけば、いざというときにも自信を持って行動できるはずです。

訓練は、自分たちを守るために行うものです。本当に災

害が発生したときのことを考えて、真剣に訓練しましょう。

年に1度は

家族で防災会議を開きたい

会社や学校など外出先で地震に遭ったとき、どうやって家族と連絡をとりますか。

いつ、どこで地震に遭っても、あわてず行動できるように家族で防災会議を開き、次のようなことを確認しておきま

しよう。

- ・避難ルートを実際に歩いてみる
- ・緊急時にはどうやって連絡をとり合うか相談する(災害時には携帯電話の使用に制限がかけられたりします)ので、つながりにくくなる恐れがあります
- ・避難するとき、子どもや高齢者の面倒をだれがみるか
- ・避難するときの持ち物
- ・非常持出袋はどこに置くか
- ・救急医薬品や消火器の点検